

馬 (1941)

メディア 映画
ジャンル ドラマ
製作国 日本
色彩 B&W
時間 129分
初公開日 1941/03/11
公開情報 東宝映画

【解説】

山本嘉次郎が自らのオリジナル脚本を監督した、セミドキュメンタリータッチのドラマ。四人のカメラマンがそれぞれ春夏秋冬の撮影を担当した。黒澤明が「製作主任」という肩書でスタッフに名を連ねているが、実際には脚本と監督の多くを担当したという。

秋の東北。百姓の娘いねは、両親に馬を飼いたいと願い出るが、借金に苦しむ両親に断られてしまう。しかし父親の甚次郎は、組合長に頼まれ妊娠した雌馬を預かることになった。厳しい冬を越え、雌馬は子馬を出産した。その数ヶ月後、金がなく組合への支払いに窮した甚次郎は、子馬を売って金を作ろうとする。しかし悲しむ母馬の姿を見て、いねは自分が女工になって子馬を買い戻すことを決意するのだった。

【クレジット】

演出	山本嘉次郎	
製作	森田信義	
脚本	山本嘉次郎	
撮影	唐沢弘光	(春)
	三村明	(夏)
	鈴木博	(秋)
	伊藤武夫	(冬)
編集	佐藤敏男	
作詞	サトウ・ハチロー	
作曲	仁木他喜雄	
音楽	北村滋章	
演奏	P. C. L. 管弦楽団	
製作主任	黒澤明	Akira Kurosawa
出演	高峰秀子	小野田いね
	藤原鶏太	父・甚次郎
	竹久千恵子	母・さく
	二葉かほる	祖父・えい
	平田武	長男・豊一
	細井俊夫	次男・金次郎
	市川せつ子	次女・つる
	丸山定夫	山下先生
	沢村貞子	奥さん・きく子
	小杉義男	佐久間善蔵

馬野都留子
松岡綾子
清川荘司
真木順
大崎時一郎
光一
岬洋二
並木伸介
玉井旭洋
沢村春寿郎
榊田敬治
島壮児
成田孝
柳谷寛

女房
娘
鑑定人・坂本さん
軍馬購買官
軍馬購買官
博労
博労
博労
組合長
祈祷師
組合の事務員
組合の事務員
若者
若者